

新刊紹介

唐鎌直義編著

『どうする あなたの社会保障』シリーズ 柴田真佐子

唐鎌直義編著『どうする あなたの社会保障』シリーズ、第1巻「医療」、第2巻「介護」、第3巻「年金」、第4巻「生活保護」が刊行されました。

「長生きしてはいけないんですか」との高齢者の声に耳を傾けることなく、75歳以上を対象にした後期高齢者医療制度が4月1日から実施されました。厚生労働省はこともあろうにこれを「長寿医療制度」といっています。4月15日の保険料の年金天引きを前に、全国で不満、怒りが大きく広がっています。後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める署名は500万筆、地方自治体の意見書は560を超え、国会には野党4党の後期高齢者医療制度廃止法案が提出されています。全国にたたかいが大きく広がっている中で、この本が刊行されました。

各巻とも第1章は制度の基本的な枠組み、第2章は「活用！医療制度」、「徹底利用！介護保険」、「年金についてのさまざまな疑問」、「生活保護の活用の仕方」とそれぞれの活用の仕方が分かりやすく解説

されています。そして、第3章は、「医療をめぐる重大問題」、「介護をめぐる重大問題」、「年金をめぐる重大問題」、「生活保護をめぐる深刻な問題」と医療、介護、年金、生活保護をめぐる、今、問題になっていることについて、問題点の指摘と改善点の方向性を示しています。各章ともまんがや図解入りで大変わかりやすくなっており、一目で内容を理解することができます。

自民・公明政権が推し進めた「構造改革」で、年収200万円以下の「ワーキングプア」と呼ばれる労働者が1000万人をこえ、貧困と格差が広がっています。「消えた年金」問題や、医師・看護師不足、「医療難民」「介護難民」が社会問題になっています。社会保障予算は2011年まで毎年2200億円削減されることになっています。第1巻の「はじめに」に「長期的な視点に立って、うまく財政の配分をすることが社会保障政策の要です。不況で困窮者が増えているときに、財政難を根拠に社会保障を削減するのでは、国の存在理由がありません」とあります。今こそ、社会保障の予算を増やすときです。

(旬報社・2008年2月・各1300円)

(しばた まさこ・全労連副議長)